

報道関係各位

AssistMotion株式会社  
代表取締役社長 橋本稔

## 再生医療 × 『curara (クララ) 』 実証実験実施のお知らせ

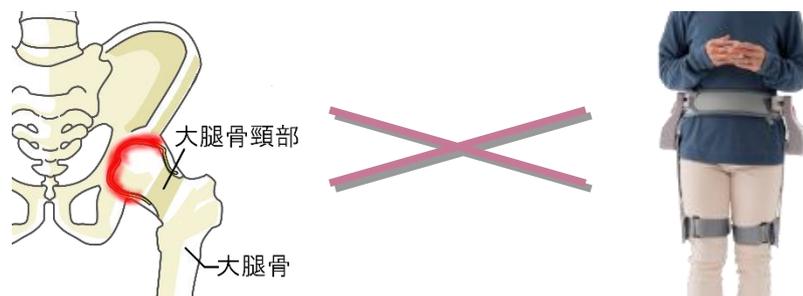
高齢者や患者の動作支援技術・リハビリテーション訓練装置と次世代ソフトアクチュエータを提供するAssistMotion株式会社（本社：長野県上田市、代表取締役：橋本稔、以下「AssistMotion」）は、幹細胞治療をもちいた再生医療に取り組む日本でも数少ないクリニックであるお茶の水セルクリニック（東京都千代田区、医院長：寺尾友宏）と共同で、再生医療における“着る”歩行訓練ロボットcuraraの効果を確認するための実証実験を開始することとなりました。

### 〈実証実験実施の背景〉

歳を重ねるとともに関節の痛みを感じるようになるのは、関節が変形し軟骨がすり減ることが原因の一つとされています。再生医療は人工関節を避け、変形を残したままの関節の動きを良くし痛みをなくすことを目的とした比較的新しい治療法です。お茶の水セルクリニックでは患者さんのごくわずかな脂肪から幹細胞を抜き出し増殖させ関節に戻すという治療をおこなっております。疾患を持つ関節に幹細胞を注入して身体の働きを増進させ、不足した軟骨の再生につなげます。

信州大学発のベンチャー企業でありますAssistMotionは超高齢化社会の抱える問題を人に優しいロボット技術で解決することを目指し、これまで高齢者をはじめとした身体動作の不自由な人、作業などで身体に障害を負った人、またはそれを予防したい人に対して、歩行動作を支援する「curara (クララ)」の開発など、歩行補助機器の開発・製造・販売に取り組んでまいりました。AssistMotionの主力製品でありますcuraraはモーターの力をもちいて人に動作を働きかけその動きを助けます。

関節を動かすことで再生を促す再生医療と、関節を動かすことをモーターの力を使って補助するcuraraがコラボレートすることで、効果が期待できるものかを検証する実験をおこなうこととなりました。



## ■詳細

予定募集人数：若干名

募集場所：お茶の水セルクリニック

実験開始日：2022年2月1日～

実験実施の場所：被験者ご自宅（お茶の水セルクリニックにて経過観察）

実験期間：3ヵ月間を予定

## ■お茶の水セルクリニック (<https://ochacell.com/>)

お茶の水セルクリニックは、これまで注射や痛み止めの薬を使った「保存療法」と「手術」しかなかった整形外科の治療に加わる第三の選択肢、幹細胞を用いた「再生医療」に特化した整形外科専門のクリニックです。股関節などの関節症を再生医療で治療しています。幹細胞治療は私たちの体の「治るメカニズム」を再び正常機能に戻すことを目的とした“新たな”治療法です。

## ■AssistMotion株式会社について (<http://assistmotion.jp/>)

AssistMotionは、信州大学繊維学部において得られた研究成果を社会貢献につなげるために、2017年に設立した信州大学発ベンチャー企業です。人に優しいウェアラブルロボット（ロボティックウェアcurara）と次世代ソフトアクチュエータ（ソフトロボティックデバイスPVCCEL）の研究開発を二つの柱とし、これらの技術を実用化することを目指しています。

## ◆お問い合わせ

AssistMotion株式会社 正村

TEL：0268-75-8124 E-mail：[info@assistmotion.jp](mailto:info@assistmotion.jp)